

令和2年6月5日

保護者の皆様

京都市立塔南高等学校  
校長 小野恭裕

## 当面の部活動の取扱いについて

平素から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、また、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大防止の取組についても、ご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

部活動につきまして、京都市教育委員会からの通知を踏まえ、当面、活動場所を校内に限定し、活動時間を2時間以内とすることを条件に、6月8日（月）から下記の留意事項に基づいて再開することといたしますので、お知らせ申し上げます。なお、校外での活動や対外試合等の再開時期が決定しましたら、改めてお知らせいたします。

### 記

#### ア 活動再開にあたっての留意事項

- ① 生徒の部活動への参加については、保護者の理解・同意を得た上、無理に参加させること等がないよう留意する。
- ② 各部活動の練習日や時間、活動に際しての、下記イ及びウの留意事項について、生徒・保護者へ周知する。また、活動再開初日等には、生徒に直接説明する。
- ③ 休校中は、自宅で過ごす等、普段とは異なる生活習慣の中で体力が低下していることが見込まれるため、十分な準備運動の時間を設けるなど、段階的な練習計画を立て、無理のない活動再開となるよう留意する。また、再開後しばらくの間は、生徒の体力面等を十分に考慮し、より短時間で、無理のない活動となるよう特に留意する。
- ④ 再開時期は、急激に気温・湿度が上昇するなど、熱中症が起きやすい気象条件が予想される。体が暑さに順応していない時期でもあるため、暑さに徐々に慣らすために短時間での練習を工夫し、こまめな水分補給と休憩を頻繁にとる。
- ⑤ 運動部の活動においては、体育の授業時の取扱いに準じ、生徒の間隔を十分に確保するなどの対策を講じることを前提に、マスクの着用は必要ないとされていることを踏まえ対応する。文化部の活動においても、体力向上のための運動を行う場合は、上記の運動部の活動の取扱いに準じる。また、マスクを着用することで熱がこもりやすい、のどの渇きを感じにくく水分不足になりやすいといった観点から熱中症になりやすい条件が重なることも考えられるため、マスク着用の影響を考慮した活動内容の設定や水分補給の指導を行う。
- ⑥ 部活動指導員、外部コーチ、その他部活動運営に携わる外部講師等に対しては、必ず事前に学校における新型コロナ感染症対策についての取組を説明し、十分に理解したうえで指導にあたることとする。

#### **イ 生徒の健康状態等の留意事項**

- ① 自宅において十分に健康観察を行い、発熱や風邪の症状があるなど体調がすぐれない場合は、必ず自宅待機で休養するように指導する。
- ② 部活動中（前後含む）も適宜、健康観察を行い、体調不良が生じた場合は、活動をやめさせ、適切な措置をとる。

#### **ウ 活動内容・時間等についての留意事項**

- ① 部活動のための登下校時も、自宅からマスクを着用する。
- ② 当面の活動場所は、校内に限定し、校外での対外試合、合同練習、合宿、演奏会等は自粛する。
- ③ 活動場所の密集を避けるため、部活ごとの活動時間を調整するなど工夫する。
- ④ 公共交通機関を利用する生徒が、登下校時に、通勤混雑等を避けることができるよう、部活動の開始・終了時間に配慮する。
- ⑤ 活動にあたっては、顧問又は部活動指導員の指導の下、部活動ガイドラインを遵守して実施することとし、当面、活動時間は2時間以内とする。特に活動再開当初は、熱中症対策のため短時間とする。
- ⑥ 飛沫感染防止のため、活動中においては、密集する活動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向き合っての発声や楽器演奏の活動については控え、当面、密集せずに距離を取って行うことができる活動に替えるなどの工夫をする。
- ⑦ 体育館や教室等の屋内においては、密閉空間とならないよう、窓や扉の開口、こまめな換気を行う。また、雨天時における室内や体育館の軒下などでの練習においても、一度に大人数が密集することのないように留意し、事前に部活動ごとに雨天時の活動場所や中止の決めをするなど工夫する。
- ⑧ 活動場所には、可能な限り消毒液を設置するとともに、活動前後での、石けんによるこまめな手洗いを励行する。生徒が手を触れる機会の多い箇所等は、こまめな消毒を徹底する。また、器具・用具・情報機器等は、生徒間での共用は可能な限り避けるとともに、やむを得ず共用する場合には、使用前後の消毒及び手洗いを徹底する。また、楽器や情報機器等で消毒することができない場合は、使用前後の手洗いを徹底するとともに、ナイロン製手袋を着用して使用するなど工夫する。
- ⑨ 複数の部が一度に更衣室を使用する等、その利用が密集状態とならないよう、時間をずらすことや、別の教室を活用する等、十分なスペースを確保し、換気に努める。また、更衣室と同様に活動する教室もこまめに換気し、多人数が長時間滞在することがないよう注意喚起する。
- ⑩ トレーニングルームを使用する際には、少人数での実施、換気、使用前後の器具の消毒、マスク着用など、感染防止対策を徹底する。